

寺報

龍正寺

日なた 118号

毎日の信仰

積み重ねは

子孫につながる

良い家庭を

つくる

日
廷



<平成30年 3月>

宝龍会
護持会

節分・星祭り祈禱会大法要を開催しました



豆まきの様子です。今年はお菓子もまきました。



堀上人法話
「宗祖日蓮大聖人降誕800年について」



堀上人様にも参加していただき
反省会です。
次回の、より良い法要の為に
役員一同がんばります。



餅配りで、厄除けします。



御住職の、力強い御祈禱です。



御住職より、特別祈禱の方へ
福袋を手渡ししていただきました。



行道の様子



開式前 境内にて



当日は良く晴れました
気持ちの良い青空でした

帰
山
式
at
長
照
寺



水行の様子



傍島岐阜県宗務所長の祝辞

吉川如兼上人



記念撮影の様子デス



吉川上人のお礼の言葉

徑職一言 (毎日の積み重ね)

春の彼岸を迎える季節になりました。

御彼岸には 御家庭に御先祖様が帰って来ます。

彼岸の入には、かやくご飯でお迎えをし、中日には厚餅
で持て成し、彼岸の明には団子でお送りすると聞か
されました。

御彼岸は7日間あります、御先祖様に、色々な品々
をお供えして供養される事が大切かと思ひます。

とて家族が日々何事もなく無事に過ごす感謝の心
を持つ事も大切です。

拝読させて頂いた「在家の誓い」の中に

1. 崇祖と信仰… 常にお仏壇をきよめ墓参をおこたらず
信仰の心をもって生活いたします。

1. 朝夕の信行… 朝夕に信行をはげみ今日一日を清らかに
信仰の心をもって生活いたします

と誓いの言葉です

御彼岸の7日間、心を持って御先祖様の供養を
勤めて下さい。

また毎日お仏壇での御先祖様の供養大切な
事があります、是して日々の感謝も大切です。

この積み重ねられる事が幸せにっながら安穏な
生活をお送る事が出来ます。

彼岸だけでなく、毎日のお勤め下さいます事を祈
り申し上げます。

南無妙法蓮華経。

合 掌

『法華經との出会い...そして久遠寺へ』

昨年の11月に私から愛知県に移住して3年が経ちました。
右も左も分りずの街でしたが、縁有りの地であり誠行錯誤
の日々でありました。

そしてあつという間に一年、二年が過ぎ去り...仕事の知人の
紹介により龍正寺・佐口上人様との出会いがありました。
元々私の祖母が信仰心が厚く、幼い頃から私も神仏や
宗教に対して遠和感もなく、ただ「漢然」と「日蓮宗?」と
宗派の事も解らずに佐口上人様とお会いしたように記憶して
います。

当時は年に一度の節分皇祭大法要しか申し込みせず

龍正寺への参拝は皆無、でありました。

そして数年前に佐口上人が「先祖供養をしろ」との指摘

を頂き...年に一度の参拝から年に四度位に増え...そして

「一週間に一度でも足を運ぶな」と教示頂き、今では

ほぼ毎日の日課に出来る様に参拝させて頂いています。

私もこの龍正寺での数々の不思議な体験を通じて、

少くも有り様が、「目に見るもの、目に見えないもの双方への感謝

という心を抱けるようになりました。

赤い経本を全く読めませんでした。朝夕の経読とお題目を通じて

私の心の何かが変わって来ました。最近になつて私なりに理解した

事は...「お経とお題目を通じての人格向上」

と思えるようになりました。また私の修行の始まりと心に命じて

あります。

そんな私が龍正寺佐口上人様との出会い、法華經に触れ20年に
してやっと素晴らすと色々存形で体感しております。

この法華経には不思議な力がある... と思えて来
て「この寺は本当に妙だ!」と実感するに連れて私の
信仰心も強くなり... 「総本山の久遠寺に行きたい!」と
願うようになりました。

その先週念願の身延山久遠寺に参拝の事が出来た。
本当なら今年の夏くらいに行こうと決めていたが... ふと「行く」
という思いになり、二人の息子に行くか?と問うと「行く!」と返事
をしてくれたので、私と息子達の参拝になりました。
片道四時間の行程でしたが、私は何故か朝から
ずっと思議の気持ちのまま身延へと向かいました。

身延山に着き、車を降りて長い長い階段280段余を息切れ
しながら休み休み上がりました。

息子達は足早に上がり「父さん、早く!!」と言ってきく。
その長い階段を上がり久遠寺の本堂を目の前にした時に
私は人目も気にせずに大粒の涙が溢れて止まりませんでした。
顔はクシャクシャして鼻水まで出る始末でした。
「この涙は何だろうか? 初めて来たのに何故こんなに涙が出るのか?」
不思議でなりません。本堂での御開帳を以て頂き、
ロープウェイにて山頂に行き、富士山も見え晴天にも恵まれ
その二人の息子達が同行してくれて、私は感動と感謝で一祈と
なりました。

それ佐口上人様曰く『10年後、20年後に二人の息子と一緒に
久遠寺に行くと意味が必ず解る日が来るから!』と教示
して頂きました。

私はやっぱり身延の道を示して頂けたと思っております。

法華経の仏縁に心からの感謝です。

スポーツは人生 (日々の精進)

平昌オリンピックで日本中の人が多くの勇気・元気そして感動を受けました。

競技者同志の国を越えた厚い友情に胸が熱くなりました。

アイススケートの羽生選手の2大会連続の金メダル、宇野選手との金・銀メダル獲得は日本中が興奮しました。

ある番組で羽生選手のインタビューでの言葉が深く心に残りました。それは『スポーツは人生』

昨年11月上旬に右足じん帯損傷、選手生命さえ心配されていた彼が回復後、はじめて氷上に立った時の感覚は絶望だったそうです。

しかし、日々の練習で何度も何度も繰り返し精進していく事で、それは確実な自信と安心に繋がる。

、
このスポーツに賭けてきた人生を観てほしい。という言葉でした。

スノーボードの平野歩夢選手も下りかを乗り越え、練習を開始した時は強い恐怖があったそうです。

しかし、今回銀メダルを勝ち取りました。

スポーツは競い合うものだと思っていましたが、決してそうではなく、自分自身との戦いだと思いました。

日々の精進、それは自らを向上してく、人生の中で大切な事だと思います。苦難の時こそ、精進する事で乗り越える力を見つめます。そして人生を勝ち取る事が出来ると思います。

信仰も同じです。願い事を叶えた時だけ、神仙の前で手を合わせるのではなく、日々報恩感謝していくと、どのような時にも心が乱れず、単々と冷静に努める事が出来ます。そして、その精進が安心、安定した人生となると思います。どん底に落ちた時こそ日々の精進が活かされる。アイススケートの宇野選手はジャンプミスの時、"うろたえる事がなかったのは練習のおかげ"。練習、て大事だなと思いました。とインタビューで言われました。オリンピックでの各選手から多くの事を学びました。日々の精進は必ず結果が出る。

この感動と学びを心に納めて、輝きのある人生の金メダルをめざしたいと思っています。

～、心の波動～

平昌オリンピックが終わりましたね。

いろいろないい場面見せていただき感動をもらいました。

スピードスケートの小平選手が韓国の選手に寄り添う姿は、切石琢磨磨している2人だからこそ言葉で言わなくてもわかる気持ちをひひしと感いさせられました。

フィギュアスケートの2人の言葉は自分自身に厳しく前を向き進んでいく結果であったと思います。本当に強い意志をもっていると思います。

今回のオリンピックは互いの心の波というものが... 見えないものですが、水の一滴のようにゆくり広がる、気持ちが人々の心に入っていくイメージがありました。

言葉ではうまく表現できないのですが、私にとってとても心がすがすがしくなるような気持ち良いオリンピックでした。

話は変わるのですが、身内のお嫁さんの話です。私が「〇〇さんと結婚したら、私だったらとっくに離婚してたよ」

「本当に離婚もせず一緒にいてくれてありがとう」と伝えたら、お嫁さんは「やさしいところがあるし、昔程いろいろな事言わなくなつたよ、それよりも体がババ西己」とその言葉にすざいたよあと思っていたのでした。お嫁さん「私の兄のお嫁さんこそ、兄と別れずいてくれてありがとうと想ってる」という言葉を聞いた時、同じような気持ちの人が繋がると言っていたのでした。

1人が周りの人の気持ちに気づかず知らないうちにババの波動を送っている(影響させている)のだとそう感じて出来事でした。

自分も少しでもよい波動が届けるようにしたいものです。

—リベンジ—

日なたに出ると、少しづつ暖かくなってきましたね。

我が家は今年の冬も少しの体調不良はありましたが、
元気に乗り越えられそうな予感がしてきました。

長女の学校では毎年、12.5km程を走る耐寒競歩
大会が行われます。昨年1年生で参加した娘は
部活の仲間の中で一人だけ30位以内の入賞を
することができず、当時はとても落ち込んでいました。
今年もリベンジ!!と部活で痛めている足のケアを
しながら、自主練にはげみました。部活が早く終
わった日、帰ってから少し走ったり、休みの日はスポーツ
クラブに行ったりランニング…。私としては足も痛いので
少しくらい休んで、早く寝た方がいいのに…と思っ
ていたが、娘の頑張りに押され、病院やジムへの
送迎、主人はマッサージなど、少しでも協力できれば
と共に頑張ることに決めました。当日の食事や筋
トレを調べたり、自分も高校時代、中長距離を
走っていたこともあり、伝えられる事はすべて、伝え

たっもりです。

そしていよいよ、大会当日、
娘は入賞することになってきました!! 昨年もらえな
かったメダルを見せて、充実感一杯の表情を
見せてくれた時は本当に嬉しかったです。

娘は正直、運動神経が良いというタイプでは
ありません。反面、長男はどんなスポーツでも、少
し練習すればやりこなせちゃう能力を持っている
方です。娘は弟を見てうらやましいと言いますが、
その分、『やれば出来る!!』という経馬券を何度も重ねて
きたお陰で、一番の努力家になっています。

一方次男は、出来ない事から逃げ"るタイプで、そんな
姿を見て、娘が喝を入れてくれます。三人三様で

すね♡

娘が持ち帰ったメダルを写真に撮ると、銀色の
メダルが金色に写りました。光の加減だ"と言
われましたが、私には娘にとっての金メダルだ"よ
と言われている気がしてますます嬉しくなりました。

『何も咲かない冬の日。下へ下へと根をのばせ。

やがて大きな花が咲く』 高校時代に教わった
言葉です。蓮華の花に似ていますね!!

< 3月の行事予定 >

3月 13日 (火) 10:00 ~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子母尊神・七面大明神初禱会

3月 21日 (水) 13:00 ~ 春季彼岸中日彼岸会

< 住職の予定 >

3月 1日 (木) 13:30 ~ 岐阜県日蓮宗寺院
主催：5かんG

<講演> すべては「こんにちほ！」から始まる

< 3月の予定 >

3月 6日 (水) 各々の時間で 準備活動

{

3月 13日 (火) 法要終了後 片づけ・準備
清掃

3月 14日 (水) 各々の時間で 準備活動

}

3月 20日 (火) 各々の時間で 法要準備

3月 21日 (水) 法要終了後 片づけ・清掃